

## 思い出をお聞きしました！

～下田まち遺産こどもシンポジウムで  
こども達が得たもの～

総合学習ではハマボウや吉佐美・田牛の自然、歴史について学び、発表しました。

今、私は埼玉県の都市部に住んでいて、自然がない暮らしをしています。帰省した際に改めて自然の良さを知ることができました。

総合学習で発表した内容は、今でも発表した仲間の思い出話になっています。



笹本 大貴 さん

私は、総合学習で下田まち遺産であるハマボウについて学び、吉佐美地区の自然がどのようにして守られているのか理解し、発表することができました。

今、私の住んでいる地域では、地域開拓が進み自然が減少しつつあります。

総合学習で学んだことを活かし、今住んでいる地域でも自然を増やすような活動に参加したいと考えています。



森 琴音 さん

今年で 10 回目を迎えた下田まち遺産こどもシンポジウム。初期に参加してくれた児童は大人への階段を登り始め、それぞれの夢に向かってまっすぐです！

今回、第 1 回(平成 21 年度)に参加していただいた朝日小学校卒業生の皆さんに、下田まち遺産こどもシンポジウムの思い出を中心に語っていただきました。



土屋 美花 さん

2018 年 4 月、私は小学校の頃からの夢だったパティシエになるために上京しました。東京にはオシャレなお店や美味しいものがたくさんあって、いつも新しい発見ばかりです。とても楽しいです。でも、やっぱり下田に帰りたいな、と思ってしまいます。自然がたくさんあり、海がキレイなところ、地域行事を大切にすると、東京では味わうことのできない安心感が下田にはたくさんあります。東京で沢山学んで、いつか下田に帰って自分のケーキ屋さんを開きたいです！

私が下田を離れて感じた下田の良いところは、自然、家族、友人の素晴らしさです。下田を離れて自然の少ないところに住み、下田の自然はとても素晴らしいものだと気付きました。また、同じ小学校を卒業した友人は離れていても連絡を取り合うことができ、様々なことを話すことができる友人は私にとってもとても大切に素晴らしい存在です。

木田川 瑞歩 さん

## 下田まち遺産を未来へ 地元の人たちがこども達にできること

下田まち遺産をこども達に引き継ぐためにはどのようなことが必要でしょうか？

※こどもシンポジウム終了後アンケート抜粋

- 身近なことからまちの特徴や歴史、大切にしていくものなどを常に調べ発表していく。自分達が住んでいる地域の財産という意識を大切に地域で守っていく気持ちを大切にしていく。
- こども達と一緒に、下田という町を守っていく為に、自然や歴史に興味をもつことが大切だと思います。
- 学校の授業で積極的に下田の町の歴史や文化などについて学んだり、体験したりすることで子供達も興味がわき、後世に残していきたいと思うようになると思います。
- 自分達が調べるだけの学習よりも、みんなの前で発表することや今回のように他校の発表を聞くことはとても勉強になると思うので、シンポジウムが今回で終了してしまうことは残念です。違う形で続けて行けたら良いと思います。
- 家庭や学校で子供に伝えていくことが必要であると感じました。
- 学校での授業に取り入れていくことと、地域の方々の協力も必要だと思います。
- 大人も分かっていないことが多いと思います。親子で知り、つなげていけたらいいと思います。
- 地域の行事や文化をこども達に教えて、体験してもらうこと。
- 引き継ぐことは大切だと思うが家庭では難しいのでこのように学校を通して学べる機会が必要だと思う。



鈴木まもるさん

## 鈴木まもるさんにお話を伺いました

全ての下田まち遺産こどもシンポジウムにご参加いただき、下田市の景観、下田まち遺産についてこども達とずっと語り合ってきた絵本作家で鳥の巣研究家の鈴木まもるさんにこどもシンポジウムについて、下田まち遺産の未来について伺いました。

### ①下田まち遺産こどもシンポジウム 10 年間の一番の思い出はなんですか？

子供さんたちの発表の後、みんなで下田の町のことを話したり、考えを聞くことができたこと。

### ②今後、下田まち遺産を未来へつなげていくために必要なことは？

文化を発信したり共有できる場（例えば図書館）があると、もっと価値観が多様になり、下田を再認識したり、好

きになる気持ちも育まれるのではないのでしょうか。仕事柄、他所の地域の図書館に行くことが多々ありますが、個人が「考える場」「物作りができる場」「なにかを共有し活動する場」が有るか無いかで、日々暮らしている町を思う気持ちも違ってくると思います。

### ③こども達へ一言お願いします。

ごはんを食べて、しっかり遊んでね。

下田市にとって必要不可欠な下田まち遺産。この 10 年、景観という枠を越えてこども達と大切なことを一緒に学んできました。これからの 10 年、20 年先、地域や学校のみなさんと一緒に下田まち遺産をこどもたちへつなげる取組を今後も続けてまいります。